

乗船までの活動



例年、9月の事前研修後から1月の事業開始までの約4カ月間、青年たち自ら様々な活動を行います。同じ地域に住んでいる青年と集まって近況を報告しあったり、内閣府青年国際交流事業に参加した人たちからなる団体である日本青年国際交流機構（IYEO）の方と交流したりと、形は様々です。事前研修で受けた刺激も、日が経つごとに薄れていきますが、定期的に会うことでモチベーション維持にもつながりました。

関西英語勉強会

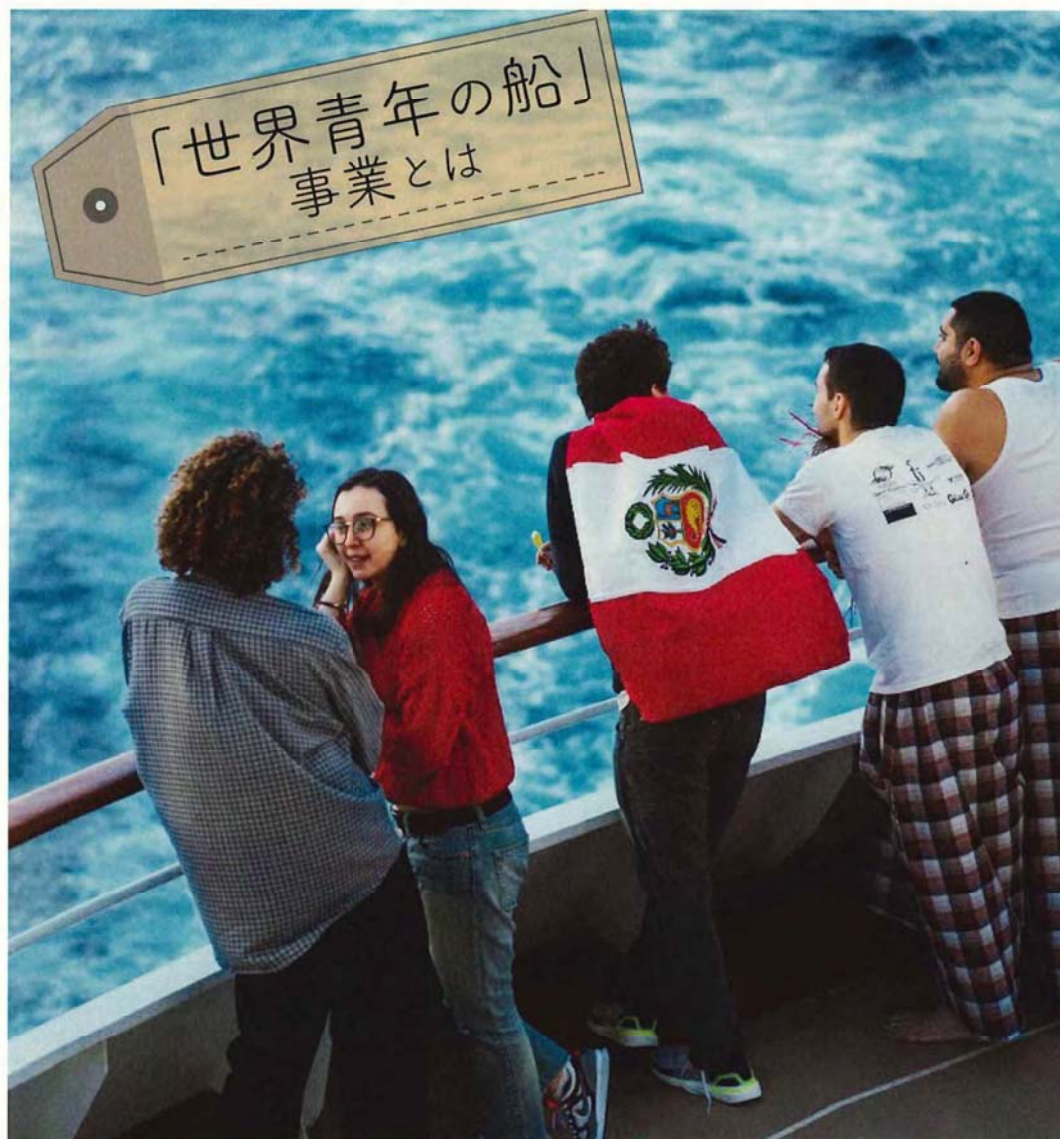
関西の英語勉強会は基本週に1回のペースで行っていました。勉強会では、主にディベートをしていました。ディベートに慣れているメンバーが仕切ってくれ、フィードバックまでくれるので次回へのモチベーション維持に繋がりました。この勉強会をしたことで、自分の英語力を認識でき、また一緒に船に乗る仲間と打ち解けることができ、安心して船に乗ることができました。実際私の英語力は低く勉強会に参加してなかったら、船上生活がここまで充実しなかったと思います。過去の経験や支えてくれる人がいる安心感があることは心の支えになる、と私は思います。こんなレベルの私が勉強会に参加してもいいのかなと悩みましたが、参加して本当に良かったです。

上園 由夏



他にもこんな活動してました

- ・関東英語勉強会
- ・ハロウィン、クリスマスパーティー（関西）
- ・各国ナショナル・リーダーとの交流（関東）
- ・他内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ（愛知、高知、新潟）



「世界青年の船」事業とは、全6つある内閣府青年国際交流事業のうちの1つです。世界各国から集まった外国参加青年（約120名）と日本参加青年（約120名）が船内で共同生活をしながら、ディスカッションや異文化交流を通してコミュニケーション力を高め、リーダーシップ力、異文化対応力等の向上を図ることが目的とされた事業です。

英語表記 Ship for World Youth Program の頭文字をとって SWY（スワイ）と呼ばれることが多いです。

参加国紹介



バーレーン王国



ブラジル連邦共和国



エジプト・アラブ共和国



フランス共和国



英国



ケニア共和国



メキシコ合衆国



ニュージーランド



ペルー共和国



スリランカ民主社会主義共和国



日本

参加青年の声

事業を通して何を学び、それはをどう活かしていくのか。3人の日本参加青年の振り返りと、今後の取り組みを紹介します。

違いを知ること、向き合うこと

船上での生活や寄港地で起きる些細な出来事を通して、日常生活では得ることができない多くのことを学びました。参加青年とのバックグラウンドの違いを実感し、また、その違いは彼らと良い関係を築く上で何ら関係なく、1人の人として向き合うことで仲を深めることができると身をもって経験することができました。今後、日常生活に戻り仕事の場面では多国籍のメンバーをマネジメントし結果を出すことが求められます。本事業で学んだ、相手のバックグラウンドを深く理解しようと心がけること、深く理解したうえで自分の意見や質問を伝えることを大切にして、同僚との対話を続けていこうと思います。そして、彼らと一丸となり、同じゴールに向かい突き進んでいくつもりです。



荻原康平

国際交流を通して

世界青年の船を知ったのはたまたまでした。大学卒業前にご飯でも食べに行こうと誘った友人から教えてもらいました。文化交流や留学には興味があった為調べてみましたがなんとも自分の興味・好奇心を沸き立てるものでした。応募締め切りがその3日後だったので急いで応募したことを覚えています。大学院どうするかなんて後先考えずに応募しました。大阪での試験に合格し、参加青年として決定してから先生に相談したのを覚えています。

この内閣府の主催する国際交流事業は留学や文化交流に興味のある人が応募すると思います。実際私もそうでした。しかし乗船してみると、環境が特殊すぎて全く別物でした。船という閉鎖空間・青年との共同生活・ネットワークの無い環境、すべてが自分にとってこれまでに触れてこなかった環境でした。

コミュニケーション力や異文化理解力など様々な事を得られましたが、一番大きかったのは参加青年約240人と繋がれたことであると感じています。自分がこれからよりグローバルに活動していきたいと思うのは、彼らとのコネクションを得られたことが非常に大きいです。

私はこの事業にもっと社会人が増えれば良いなと思います。日本参加青年は学生が多いと感じました。実際私も参加したのは大学院生の時でした。しかし、様々な意見や知識が混ざり合うこの事業では、人生においてより経験を積んできた方々の参加が増える事で新たなイノベーションが発生するのではないかと感じました。(外国参加青年はほとんどが社会人のようでした)

西谷直弥

自己の尊さを再確認できた旅路

SWYとは何か？と問われる機会が船を降りたくさんありました。私はその問いに対し、『自己の尊さ』を再確認する事ができた。と答えています。

今まで私は英国に6年在住し、海外の方が自分に合っており、また海外に戻ろうと思っていましたが、外国参加青年の人々に「Enaは他の日本参加青年とは違うけどその違うところが美しいと証明した方がいい。」と言われました。確かに日本だと足並みを揃えた方がいいと思われがちですが、私は自分が自分で在れる事や個性の美しさを自分を使って日本で証明していこう！と思うようになりました。そう思えるほどに、船の上では新しい事、今までの常識とは違う事がたくさんあるのです。この事業によって得られる事、感じ方、本当にそれぞれだと思います。私のように、船酔いで1/3の時間をベッドの上で過ごす事もあるかもしれません。でも、これから参加する方や、新しい事に挑戦する人には、どんな時でも常にポジティブに物事を考えて、全ての事柄には意味があると思え立ち向かって欲しいです。

もしかすると、何かの答えをみつけない事もあるかもしれません。今ではないのかも知れません。でも、まずは挑戦し前に進み続ける事が大切だと思います。私はこの事業を通じ、考える事、気づく事、感謝する事、愛おしい事、すべてが美しい事だ！と心の底から感じました。ここで得た、尊さと愛をもって今後とも自分の人生、そして周りに影響できる人間でありたいです。



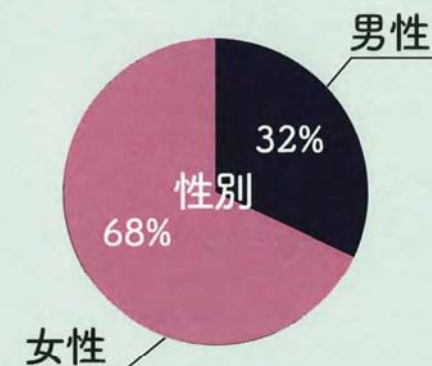
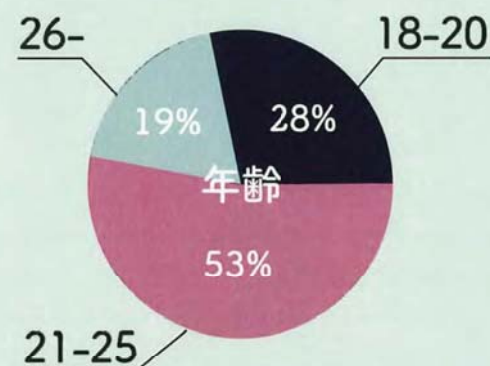
宇田恵菜

SWYを終えて

NIPPON MARU

日本参加青年内訳

全国津々浦々から選考を通過した日本参加青年約120人が集まります。18歳から30歳（応募時の年齢）まで様々なバックグラウンドを持った青年と全プログラムを共に過でします。例年9月に日本参加青年だけで行われる約1週間の事前研修では顔と名前を覚えるのに苦戦しますが、下船後は、家族のような存在となり、この出会いは一生のものとなります。



航路



2019年度「世界青年の船」事業日程

陸上研修①

日程	午前①	午前②	午後①	午後②	午後③	夜
1 1月10日(金)	外国参加青年来日					
2 1月11日(土)	外国参加青年 午前: 朝見団 午後: オリンピックセンターへ移動 日本参加青年 午後: 出航前研修				チェックイン/オリエンテーション	18:15-20:00 歓迎レセプション
3 1月12日(日)	9:30-11:30 オリエンテーション-MTG	13:00-15:00 開講式	15:15-16:00 警備官講話	16:15-17:15 レターグループ集合	18:00-19:00 アイス・ブレイク	19:00-20:45 夕食・ブレイク
4 1月13日(月)	9:30-12:00 SWYイントロダクションワークショップ	13:00-14:45 リーダーシップ・セミナー	15:00-16:15 デ・カサ・カサ・カサ・カサ	16:30-17:30 レターグループMTG		
5 1月14日(火)	9:30-12:00 オリンピック・パラリンピック競技体験	13:00-14:50 コース競合合わせ	15:00-16:10 委員会活動	16:20-17:30 チェックアウト/オリエンテーション		

船上研修

日程	Morning Activity 9:00-9:30	午前① 9:30-10:40 (70分)	午前② 10:50-12:00 (70分)	午後① 13:40-14:50 (70分)	午後② 15:00-16:10 (70分)	午後③ 16:20-17:30 (70分)	夜
6 1月15日(水)		オリンピックセンターチェックアウト・横浜港へ出発		横浜港へ移動・自由時間		乗船	船内オリエンテーション/ 船内生活オリエンテーション
7 1月16日(木)		避難訓練/心算セミナー		オープンシッピング(13:30-15:00)・出港式(15:00-15:30) 出港(16:00)			カウンタークローズ
8 1月17日(金)		ハウスルール・オリエンテーション (モーニング・アサンプラー、カクテル・セッティングなど)		船長講話	委員会活動	自主活動	
9 1月18日(土)		半休日		コース・ディスカッション①		委員会活動	自主活動
10 1月19日(日)	Letter Group A	ナショナル・プレゼンテーション・リハーサル		ナショナル・プレゼンテーション		自主活動	自主活動
11 1月20日(月)		公式写真撮影		デリゲーションMTG	ナショナル・プレゼンテーション	自主活動	自主活動
12 1月21日(火)	Letter Group B	クラブ紹介		委員会活動	ナショナル・プレゼンテーション	自主活動	自主活動
13 1月21日(火)		コース・ディスカッション②		スポーツ&レクリエーション①		自主活動	カウンタークローズ
14 1月22日(水)	Letter Group C	All-PPYセミナー①		Peer Learningセミナー①		委員会活動	自主活動
15 1月23日(木)		コース補講	デリゲーションMTG	クラブ活動 A ①		ハワイ 入港オリエンテーション	ハワイの歩き方
16 1月24日(金)		ハワイ(給油・給水)					カウンタークローズ
17 1月25日(土)		休日					カウンタークローズ
18 1月26日(日)	Letter Group D	オリンピック・パラリンピックセミナー①		事後活動セッション①	クラブ活動 B ①		自主活動
19 1月27日(月)	Letter Group E	コース・ディスカッション③		Peer Learningセミナー②		自主活動	自主活動
20 1月28日(火)		クラブ活動 A ②		委員会活動	公式写真撮影		自主活動
21 1月29日(水)	Letter Group F	All-PPYセミナー②		エンセナーダ寄港地オリエンテーション		デリゲーションMTG	カウンタークローズ
22 1月30日(木)							カウンタークローズ
23 1月31日(金)		メキシコ・エンセナーダ(寄港地活動)					カウンタークローズ
24 2月1日(土)							キャンピングチェンジ オリエンテーション
25 2月2日(日)		半休日	寄港地活動評価会	キャンピング・マッチング	バックキップ、船内掃除、 移動準備		キャンピングチェック
26 2月3日(月)		キャンピングチェンジ (荷物・ドルフィンホールへ移動)	委員会活動	レターグループMTG	キャンピングチェンジ (新しい部屋へ移動)		カウンタークローズ
27 2月4日(火)		クラブ活動 B ②		コース・ディスカッション④		自主活動	自主活動
28 2月5日(水)	Letter Group G	オリンピック・パラリンピックセミナー②		Peer Learningセミナー③		委員会活動	自主活動
29 2月6日(木)	Letter Group H	スポーツ&レクリエーション②		クラブ活動 A ③		ハワイ 入港オリエンテーション	自主活動
30 2月7日(金)		ハワイ(給油・給水)					カウンタークローズ
31 2月8日(土)		休日					カウンタークローズ
32 2月9日(日)		コース・ディスカッション⑤		クラブ活動 B ③		委員会活動	自主活動
33 2月10日(月)	Letter Group I	All-PPYセミナー③		事後活動セッション (NL主導)	Peer Learningセミナー④		自主活動
34 2月12日(水)	Letter Group J	サマリー・フォーラムリハーサル		サマリー・フォーラム			自主活動
35 2月13日(木)		事後活動セッション②		委員会活動	デリゲーションMTG	イベント/パブリック・サービス③ NL主導	自主活動
36 2月14日(金)	Letter Group K	エキシビションリハーサル		エキシビション			自主活動
37 2月15日(土)		モーニングオフ	Re-Entry	*13:40-15:40 ふりかえりセッション (NL主導)	*15:40-16:10 下船オリエンテーション	*16:10-20:00 フェアウェルセレモニー・ディナー	
38 2月16日(日)				下船準備			
39 2月17日(月)		帰港	オリンピック・センターへ移動	チェックイン	陸上研修②オリエンテーション		カウンタークローズ

陸上研修②

日程	午前①	午前②	午後①	午後②	午後③	夜
40 2月18日(火)	オリンピック・パラリンピック競技会場へ課題別視察(お昼・有明)				レターグループMTG	カウンタークローズ
41 2月19日(水)	東京都内視察				評議会	カウンタークローズ
42 2月20日(木)	OPPY: 地方プログラム JPY: デリゲーション/MTG		12:00 - 13:30 修了式／解散交歓会			
43 2月21日(金)						
44 2月22日(土)						
45 2月23日(日)	JPY: 帰国後研修 (Feb 21, 22) OPPY: 地方プログラム (Feb 21 - 24)					
46 2月24日(月)						

※上記日程は船内の事情により変更する場合があります。

DAY3

10:00 ぶどうの木とワインの博物館見学

16:00 エンセナーダ市内散策

18:00 帰船

20:00 エンセナーダ港出港



「お菓子を買ってくださいませんか？」

最終日の自由時間に、私はとある現地の少年にそう声をかけられました。急いでいたため断ってしまいましたが、後にメキシコ人の参加青年に話を聞くと、その少年がストリートチルドレンであったという事実を伝えられました。メキシコにはストリートチルドレンが存在する地域もあり、彼らの多くは人前で泣くように親に指導されていることもあったと教えてもらいました。人生で初めてストリートチルドレンを目の当たりにした私にとって、その現実是非常に衝撃的でした。同時に、貧困問題の深刻さを痛感しました。寄港地活動では、貧困問題以外にもインフラ問題や環境問題など、社会問題の根深さを垣間見ました。この経験を通して、将来は世界中に蔓延る社会問題の解決に貢献したい、と強く思いました。

鬼頭 伸典

